

2026/8/22 (土) 13:00-16:30

第13回 JCOG患者・市民セミナー 入門編

講義 1

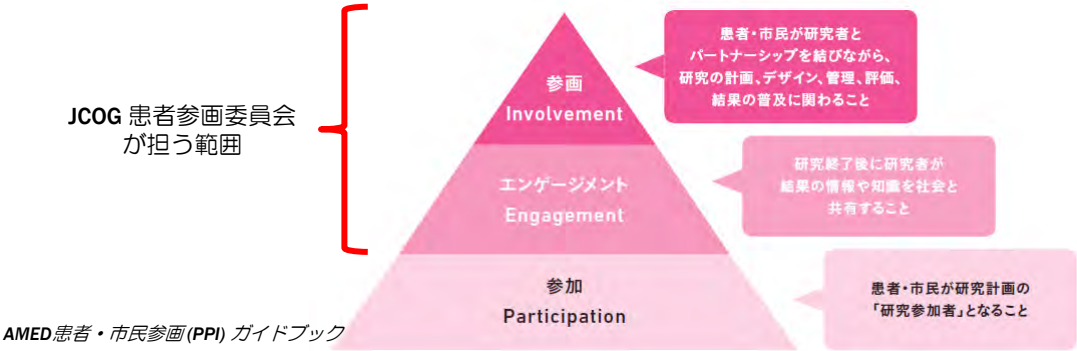
【PPI (患者市民参画) とは？】

JCOG患者参画委員会副委員長
神奈川県立がんセンター 消化器内科
上野 誠

1

患者市民参画 (PPI: Patient and Public Involvement) とは？

- 医学研究・臨床試験プロセスの一環として、研究者が患者・市民の知見を参考にすること。
- 患者・市民： 患者、家族、元患者 (サバイバー)、未来の患者を想定。



2026/8/22

第13回JCOG患者・市民セミナー

2

患者市民参画 (PPI: Patient and Public Involvement) とは？

協働：研究が、患者とともに行われること

メリット

- 研究開発を進めるうえでの新たな視点と価値を発見することができる。
- 患者の不安・疑問点を解消し、臨床研究の理解を促進することができる。



メリット

- 研究参加者にとって負担の少ない実施体制になる
- 患者・市民にとって研究が身近になり、関心を高めることができる。

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI）についてより

ジヨハリの窓

	自分は知っている	自分は気づいてない
他人は知っている	開放の窓 (公開された自己) 自分も他人も知っている自己	盲点の窓 (見えていない自己) 自分は気づいていないが 他人は知っている自己
他人は気づいてない	秘密の窓 (隠された自己) 自分は知っているが 他人は気づいていない自己	未知の窓 (誰も知らない自己) 誰からもまだ知られていない自己

ジョハリの窓

- ジョハリの窓 (Johari window) とは自分をどのように公開ないし隠蔽するかという、コミュニケーションにおける自己の公開とコミュニケーションの円滑な進め方を考えるために提案された考え方。
- 1955年にサンフランシスコ州立大学の心理学者ジョセフ・ルフト (Joseph Luft) とハリ・インガム (Harry Ingham) が発表した。

Wikipedia より

最大のメリットは
「自分と他人との認識のズレを洗い出せる」こと。

2026/8/22

第13回JCOG患者・市民セミナー

5

PPIにおけるジョハリの窓

	研究者は知っている	研究者は気づいてない
患者は知っている	開放の窓 研究者も患者も知っていること	盲点の窓 研究者が気づかない 患者さんの希望・ニーズ
患者は気づいてない	秘密の窓 研究者だけが分かっている (分かったつもりになっている) こと	未知の窓 これまで誰も気づいてなかった 真の課題・ニーズ

開放の窓を広げることが重要！

2025/8/23

第11回JCOG患者・市民セミナー

6

6

診療と研究の区別

- **日常診療**：目の前の患者さんのために、最善 (と思われる) を意図して行われる (**the patient**)
 - 患者さんは「目的」である。
- **臨床研究**：将来の患者さんにとって利益となるような知識・知見の獲得を目指して行われる (**future patients**)
 - 医療者から「搾取 (≒不当に利用)」されるリスクが存在する。
 - 臨床研究は「正しい方法」で行われなければならない。

2026/8/22

第13回JCOG患者・市民セミナー

7

なぜ臨床試験にPPIが必要か？

- 新たな治療法が、本当に安全か、期待された効果を発揮するのかを確認し、患者さんに「より良い」治療を提供し続けるために「臨床試験」が必要。
- 臨床試験は研究者の「自己満足」「押しつけ」であってはならず、患者さんから協力・意見・評価・理解・同意を得て成り立つもの。
- そのため、臨床試験の立案・作成段階からの患者・市民参画が必要。
- 臨床試験の結果は、適切に分かりやすく患者・市民へ速やかかつ広く公表する努力が研究者に必要。

2026/8/22

第13回JCOG患者・市民セミナー

8

海外の研究資金配分機関におけるPPIの動向

国	研究資金配分機関	PPIの動向
英国	MRC (英国医学研究会議) Clinical Trials Unit	臨床研究の実施に向けた申請書やプロトコル、患者向けリーフレット等に患者からのコメントを反映。
米国	NIH (米国国立衛生研究所)	研究プロセスにおける患者参画やコミュニティ参画の確保に向け、公衆衛生のニーズを同定し理解する上で、コミュニティ組織や患者団体と協働しなければならない。
豪州	NHMRC (国立保健医療研究評議会)	研究計画からガイドラインの作成に至るすべての段階に、消費者 (消費者) とコミュニティの積極的な参画が求められている。

臨床研究等における患者・市民参画に関する動向調査 報告書 <https://www.amed.go.jp/content/000049456.pdf>

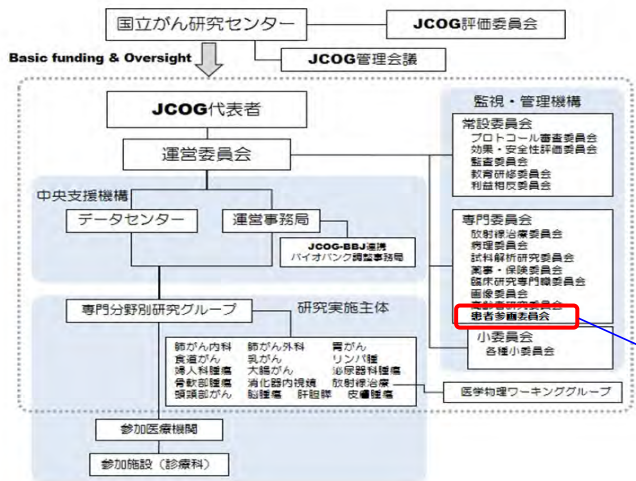
海外の研究資金配分機関におけるPPIの動向

MRC Clinical Trials Unit (2022/12)

- プロトコール検討委員会・データ共有グループ・品質管理アドバイザリーグループにおける患者代表の参画。
- PPI活動を3つのレベルに分類：
 - 個別研究におけるPPI: PPIに関する研究・WG、コミュニティでの会議。
 - プログラムレベルにおけるPPI: 団体と連携・意見交換。
 - 戦略的PPI: 戦略的啓発。臨床試験にはPPI計画の提出が必須 (品質管理アドバイザリーグループによるレビューが行われる)。
- これから開始される試験には、全てPPIが義務付けられている。

令和4年度 臨床研究等に対する国民・患者の理解・参画促進に関する動向調査 報告書 <https://www.amed.go.jp/content/000114533.pdf>

JCOG患者参画委員会



- 2015.12
JCOG総合班会議
患者参画を主題に
- 2018.04
JCOG患者参画委員会
発足
- 2022.03
JCOG患者参画ポリシー
承認
- 2022.04
JCOG患者参画委員会
発足

<http://www.jcog.jp/basic/profile/organization.html>

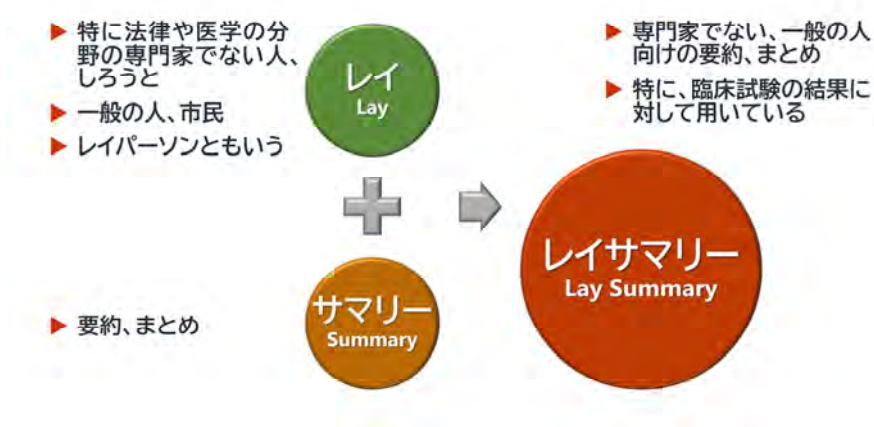
Lay Summary (レイサマリー)

エンゲージメント (Engagement)

- 研究終了後に研究者が結果の情報や知識を社会と共有すること
 - 研究結果の説明を含めてPatient and Public Engagement (PPE) と定義
 - エマニユエルの研究倫理8要件「被験者の尊重」
- 2021/10/4 EUで“Good Lay Summary Practice”が公開
 - 公開するという議論から、
→「一般の方に対してわかりやすく」が求められるように
 - EU Clinical Trials Regulationでは研究のスポンサーに「レイサマリー」の作成を求めている (2022/1/31～)
- JCOG：研究の「主たる解析時」に研究参加者向けの結果の説明
「レイサマリー」を作成し研究者に配布



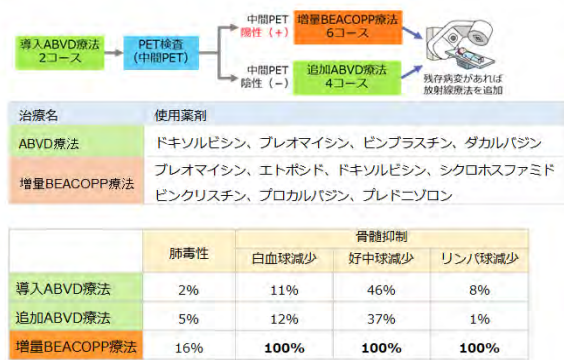
Lay Summary (レイサマリー)



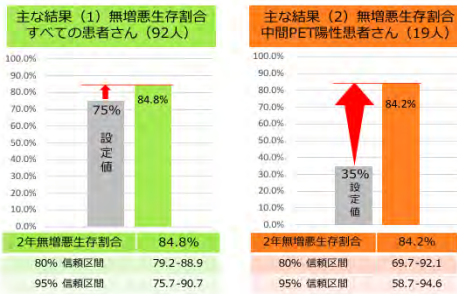
PPI JAPAN HP “治験・臨床研究を学ぶ” より ppijapan.org/lay_summary

JCOGでのレイサマリー第1号 (JCOG1305: リンパ腫グループ)

ホジキンリンパ腫に対する治療に関する臨床試験 (JCOG1305) にご参加いただき、誠にありがとうございました。このたび、データ解析を行い、試験の主要な結果を学会で発表いたしました。JCOG1305試験にご参加いただいた皆様にご報告します。



2022年6月のデータ解析 では、2015年11月20日から2020年2月1日に登録された93人の患者さんを対象として解析しました。すべての登録患者さんを対象として集計した2年無増悪生存割合が75%を上回ることを調べる設定で、105人の患者さんの登録を目標としました。



JCOG
Japan Clinical Oncology Group
日本臨床腫瘍研究グループ

<https://jco.jp/>

全てお知らせ一般の方向け研究者・医療関係者向け

2024.5/08一般の方向け乳がんグループJCOG1607患者さん向け試験結果説明書を公開しました

2024.4/11一般の方向け食道がんグループJCOG1314患者さん向け試験結果説明書を公開しました

2024.3/29一般の方向け肺がん内科グループJCOG2007患者さん向け試験結果説明書を公開しました

2024.3/08一般の方向け肝胆膵グループJCOG1611の患者さん向け試験結果説明書を公開しました

2024.3/08一般の方向けJCOG患者・市民セミナーページを更新しました

2024.2/15一般の方向け消化器内視鏡グループJCOG1207の患者さん向け試験結果説明書を公開しました

2023.12/13一般の方向け肺がん内科グループJCOG1404の患者さん向け試験結果説明書を公開しました

2023.11/14一般の方向け婦人科腫瘍グループJCOG1101の患者さん向けの試験結果説明書を公開しました

2023.8/25一般の方向け乳がんグループJCOG1017の患者さん向けの試験結果説明書を公開しました

2023.7/18一般の方向けJCOG患者市民セミナー（入門編）参加者募集を開始しました（8/13まで）

2026/8/22第13回JCOG患者・市民セミナー

15

JCOGにおけるPPIのこれから

患者市民から見た
ニーズ・課題は何か？
研究者との認識に乖離が
ないか？

課題
の設定

課題に対する意見
試験の目的は妥当か？
新しい治療は受け入れられるか？
参加できるか（したいか）？

研究計画の作成

説明同意文書
わかりやすい説明か？
知りたい情報が入っているか？
研究者の意図が伝わるか？

試験の実施

登録促進
臨床試験への理解を深めるには？
試験への参加を推進するには？

結果
の公表

患者市民への分かりやすい広報・
Lay Summary
患者市民が何を知らたがっている
か（知りたくないか）？

臨床導入

ガイドラインに反映
患者市民の参加
丁寧な説明

新治療の評価

臨床試験のサイクル

古瀬純司先生スライドを参考 2022/2/4 第13回日本臨床試験学会学術集会シンポジウム8より

2026/8/22第13回JCOG患者・市民セミナー

16

第13回 JCOG患者・市民セミナー

8

第13回 JCOG患者・市民セミナー 入門編の目的

- PPI活動に参加するJCOG研究者、患者、市民の臨床試験に対する学びの場
- 臨床研究が研究者、患者、市民の協同で行われるべきことへの理解
- PPIにおける盲点の共有
- JCOGだけでなく、本邦の臨床研究へPPI活動を拡大

2026/8/22

第13回JCOG患者・市民セミナー

17